

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者発表【資料1-⑦】

令和5年11月24日

企画部企画政策課

担当：小山

連絡先：022-358-0517

水素燃料電池バス等を用いた災害時活用実証

本市では、令和3年3月より宮城県及び宮城交通㈱と連携し、水素で走る燃料電池バスの路線運行を行っています。

この度、宮城県では、本市を会場として、災害時における避難所等での水素燃料電池バスの活用実証を行います。実際の避難所運営を想定し、水素燃料電池バスから避難所運営機器及び電気自動車への給電能力試験や、災害関連死の抑制に向けた在宅医療機器（人工呼吸器等）への給電能力試験を実施します。

報道関係の皆様におかれましては、ぜひ取材していただきますようお願いいたします。

記

- 日時 11月28日（火）午後2時00分～午後4時00分（一般公開）
（午後1時50分～受付）
- 場所 富谷中央公民館（富谷市富谷西沢13）
- 主催 宮城県（宮城県環境生活部再生可能エネルギー室）
- 協力 富谷市
東北大学災害科学国際研究所（実証実験の企画・監修等）
トヨタ自動車株式会社（実証実験の企画・監修等）
株式会社フィリップス・ジャパン（機器類の提供・操作等）
宮城交通株式会社（燃料電池バスの運転操作等）
- 内容
(1) 水素燃料電池バスから避難所運営資器材や電気自動車への給電能力試験
(2) 水素燃料電池自動車から在宅医療機器（人工呼吸器等）への給電能力試験

実証実験内容

